

保健福祉企画総務課長 様

中区役所地域整備課長
瀬島 和憲

岡山市くらしやすい福祉のまちづくり設計支援委員の
意見等について（報告）

下記施設整備事業について、令和5年6月29日岡山市くらしやすい福祉のまちづくり設計支援委員（以下「委員」という。）に意見を聴いた結果を報告します。

記

事業名 (整備概要)	高島駅南口駅前広場整備事業	
委員からの意見	委員の意見に対する回答	
<ul style="list-style-type: none">● 福祉車両スペースとタクシーの乗降スペースの車止めについて、乗り込みに支障があるためポールをなくしてほしい。● 一般車スペースについても、福祉車両スペースが使用されている時に、一般車スペース側で乗降できるよう、一部ポールの間隔が広めのところを作って欲しい。● 高島駅北口も可能であれば福祉車両スペースのポールを外して欲しい。	<ul style="list-style-type: none">● 車止めについては、1.5m間隔があり、車いすの方も通れる計画です。ポールの撤去については歩行者の安全性確保の観点も含めて検討します。● 福祉車両スペースを使用されている際、一般車スペースで乗降することは考えられます。こちらも歩行者の安全性の観点も含めて車止めの幅を検討します。● 北口の整備については、本事業とは別ですが、上述の通り検討します。	

<ul style="list-style-type: none"> ● 車道と歩道に段差はあるか。車いすがその段差を上ることはできるか。 ● 一般の人が福祉車両スペースに停めていて利用時に困る時があるため、福祉車両スペースに、目立つように看板等を立てて欲しい。 ● 拡幅道路の横断歩道は段差が 1cm ということだが、視覚障害がある場合、2cm あった方が段差に気づきやすい。また、横断歩道へ点字ブロック、エスコートゾーンを敷設してほしい。 ● 本件とは直接関係ないが、現在、駅の北側から南側に行くには凹凸のある踏切かすれ違いのできない高架下しかない。駅から南側に車いすで出られるようになるのは非常に嬉しいが、駅を通るとなると入場料が必要となるため、お金のかからない南側への行き方を今後検討してもらえるとありがたい。 ● スロープの幅はどれくらいか。また、スロープに点字ブロックや、手摺の点字は配置されるか。 ● 駅の改札口からスロープまでの間と、スロープから広場までの間の点字ブロックを設置してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 広場部については、スリット側溝のため車道と歩道の段差はほぼなくフラットです。道路拡幅部についてはセミフラットで約1cmの段差となります。よって車いすが段差を上げると考えています。 ● 乗降場サイン（案内看板）を設置し、間違えて停車することの無いよう促します。 ● 検討します。 ● アンダーパスは付近の県道部分にありますが、バリアフリーに対応した構造ではありません。踏切と駅構内の通過については JR での対応となります。 ● スロープの幅は有効幅員1.4mで、車いす同士がすれ違うのは困難ですが、車いすと歩行者がすれ違える幅を確保しています。点字ブロックについてはスロープの始まりと終わり、踊り場に警告ブロックを配置します。また、手摺に点字を配置します。 ● 検討します。
---	--

<ul style="list-style-type: none"> ● 広場歩道のインターロッキングについては凸凹が生じることを考慮してカラーアスファルトとしないのか。 ● 東側の点字ブロックが、一般車両の乗降場までで止まっているが、主要なところまで誘導した方がいいのではないか。 ● 点字ブロックは公共の施設やバス停までつながれば一番良いが、それが困難な場合、横断歩道までは設置してほしい。 ● スロープや階段の上部にある屋根は歩道部分に支柱があるのか。 ● 階段の蹴上高と踏面の幅の検討をしたか。蹴上×2+踏面=60cmが一般的に上り下りしやすい階段寸法である。 ● 拡幅道路の水路にかかる橋について、現況は柵がないが、どういう計画か。また用水路沿いにある現況の柵は低く、知的障害の子どもが転落する危険性があるため、高い柵を設置してほしい。 ● 福祉車両スペースが空いていない場合、車いす利用者等は一般車スペースを使用することになるので、一般車スペースには屋根はつかないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 想定しているインターロッキングは、地震による液状化に対して強い構造で、車等の重量のある荷重にも強く、ずれが生じた際の部分補修も可能である製品を選定しています。 ● 周辺の県道まで現地確認した結果を踏まえて計画しています。県道には歩道がなく点字ブロックを配置し続けることは困難です。バス停や交番等の公共施設も距離があるため、これらを踏まえて、南口については駅の乗降場での利用を目的としました。 ● 承知しました。横断歩道を渡りきるまでは計画を見直します。 ● 広場通行箇所には屋根の支柱はありません。 ● 検討します。 ● 橋には転落防止柵がつきます。一般的な高さ1.1mの転落防止柵を設置する予定ですが、高さについては検討します。 ● 屋根の範囲については構造上の制約も踏まえて検討します。
---	---

<ul style="list-style-type: none"> ● 福祉車両スペースの屋根は車道との境でちょうど終わっているため、濡れる恐れがある。 ● 点字ブロックは歩道の中央に設置することが多いと思うが、現状の配置で問題ないか。 ● 点字ブロックの色とインターロッキングの色のコントラストがあまりない場合、黄色の点字ブロックの横に5cm程度の線を添わせ、点字ブロックが目立つようにしてほしい。実例としては、黄色の点字ブロックに黒い縁線、まわりがベージュの様なタイルといったもの。ほかにも黄色の点字ブロックに赤い縁線、黒の舗装等の組み合わせを見たことがある。 ● 過去に輝度比2.0を確保した事例があったが、弱視の方にとっては見えなかったことがある。 ● 乗降場のサインの大きさを教えてほしい。点字ブロックとの位置関係も踏まえて。 ● 総合案内の位置が分かりづらい。場所も階段やスロープの付近等、確認しやすい場所がよい。 ● 総合案内までの誘導の点字ブロックが必要。 ● 総合案内に点字があるか。また、車いすにも対応した高さか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 屋根は駅側に傾斜しており、雨どいへ流入します。乗降場側には雨水が落ちてきません。 ● 検討します。 ● 輝度比2.0程度確保できる色を施工時に選定します。点字ブロックの縁の線については、検討します。 ● それも踏まえて見えやすいように検討します。 ● 広場の歩道の幅員は全幅4.3m(有効幅員は3m以上)あります。乗降場のサインはおよそ幅35cm×高150cm×厚10cmであり、上部が突き出ていたりはありません。点字ブロックを歩道の真中に設置する場合、両側のサインと点字ブロックの距離は十分確保できます。 ● 総合案内サインの位置については検討します。 ● 点字ブロックについても検討します。 ● 総合案内には点字があります。車いすと歩行者どちらもが見やすい高さの設定としています。
--	---

<ul style="list-style-type: none"> ● 広い階段の右側の壁に凹凸があり、危険である。視覚障害者が凹凸にぶつからないよう手摺があった方がよい。また、階段の手すりには点字あるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 階段の壁の凹凸は構造上必要な柱です。壁のへこんでいる部分を出して手摺を設置したり、へこんでいる部分の横へ自立式の手摺を設置したりするなど検討します。また、階段の手すりには点字を付ける計画としております。
<ul style="list-style-type: none"> ● 南口の改札に券売機はあるか。また、ある場合は車いすや視覚障害の方に対応しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 確認しますが、JRでの対応となります。
<ul style="list-style-type: none"> ● 南口の改札の幅は車いすに対応しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 現地確認したところ、幅90cmあり車いすに対応しています。北口の一番広い改札と同じ幅です。北口で車いすの方の通行を実際に確認しました。
<ul style="list-style-type: none"> ● 広い階段については、両側と中央に手摺が欲しい。真中については、降りる人と上る人を分けられるため、有ったほうが助かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在、左側だけの計画です。右側と中央については意見を踏まえて検討します。
<ul style="list-style-type: none"> ● 駐輪場続く階段について、視覚障害者が使用する想定がないとしても、警告ブロックを敷設してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 安全性に配慮して階段の起点と終点に敷設します。
	<p style="text-align: right;">以上</p>